

「皆様の声」をお聞かせください。

FUJITSUファミリー会をもっと楽しく活用していただくための
さまざまな情報をご提供します。

会報担当幹事から

中国支部 **渡部 茂久** (株)中国新聞システム開発



会報担当になり今年で6年目になりました。私の主な役割として、5月の全国編集会議への参加、会報「Family」のアンケート回答や支部担当ページの題材探しが中心になります。

中国支部では、「面白い、楽しい、興味のある魅力的な行事の発信」を基本テーマとして企画を立て活動をしています。支部で人気の企画を少しでも紹介します。

定番になった「合宿型人財育成」は、ビジネスマナー／コミュニケーション能力を身につけると同時に、異業種の方々と交流する事により幅広い人脈作りができると大好評を頂いています。

「大人のOff Time」として、マツダスタジアムでの野球観戦や懇親ゴルフコンペを開催し、支部会員同士の親睦を深める企画があります。残念ながら、今年の野球観戦は雨で中止となりましたが、ゴルフコンペは晴天でナイスショットといきたいです。

「システム事例フリーマーケット研究会」は、6年目を迎えさらにパワーアップしました。テーマとして「競い合う知恵」、「ひとづくり」、「しくみづくり」、「語り合う夢」、各会社の事例を発表しディスカッションを行い、活発な討議が行われます。会員相互の活発な意見交換があり有用な研究の場となっています。

中国支部では色々な企画を行っています。これらを会報を通じて全国のみなさんにご紹介していきたいと思ひます。



NEW FAMILY

(7～8月度ご入会分)

- 北海道 (株)コア 北海道カンパニー
キヤノンマーケティングジャパン(株)
(株)マルエイ六峰社
(株)エイチ・エル・シー
道銀カード(株)
(株)成中クリーニング
十勝バス(株)
●信越 (株)日新
●関東 フクダ電子(株)
日本デルタシステム(株)
新日鐵住金(株)
(株)アルク
日本アジアグループ(株)
(株)そごう・西武
インフォメーションサービスフォース(株)
(株)エンプラス
(株)丸和運輸機関
(株)大東システムエンジニアリング
(株)関電工
(株)セブン&アイ・ホールディングス
(株)武州養蜂園
ヒロセ電機(株)
日本インター(株)
森ビル(株)
SMBC 日興証券(株)
●東海 エフコム(株) 中部支店
●関西 (株)ダスキン
サナダ精工(株)
(株)ブルーアロー
(株)システムズ 大阪事業所
●中国 フマキラー(株)
●四国 コンピューターシステム(株)
●九州 日本乾溜工業(株)
学校法人鎮西学院

支部のイチオシ! 四国支部

<http://jp.fujitsu.com/family/sibu/sikoku/>

とっても楽しい親睦行事、リピーター続出!

四国支部からは、親睦行事をご紹介します。

四国支部では、会員同士の交流・親睦を図るために2011年度から親睦行事を企画するようにしました。最初の年は『ラフティング』を企画しましたが、開催前日に、なんと台風が来まして、泣く泣く取り止めるという事態になりました。翌年はリベンジとして再度『ラフティング』を企画し、見事開催できました。アンケートで、「大変楽しかったので、またこのような行事を開催してほしい」という声をたくさんいただきましたので、ご要望にお応えしまして、今年度は『シャワークライミング』を企画しました。『シャワークライミング』とは、いわゆる「沢登り」で、滝登り、滝つぼダイブ、ウォータースライダーを楽しむものです。



集合写真いざ出陣

シャワークライミングの前の昼食には、栄養補給

にステーキ定食を食べ、終わった後には、疲れた体を癒すために秘境の湯に浸かるなど盛りだくさんの内容になっています。もちろん、参加者の皆様から大好評で、また来年も親睦行事をぜひとも開催してほしいといわれています。

この他にも四国支部ではいろいろな部門や年代の方が参加できる行事や、他支部との交流ができる行事を開催していますので、多くの方のご参加をお待ちしております。



激流なんかには負けないぞ!



きゃあ～ 楽しい!!



みんなブッカリ ハイ、ポーズ



LS研究委員会

LS研マネジメントサロン関西ご紹介

LS研では、人脈形成を目的に、ICT部門で各階層の方々に毎月1回(1年間)アフターファイブに集まっていた頂き、業界の最新動向や情報システム部門のあり方などについて、飲食をしながらくつろいだ雰囲気での話題提供と意見交換を行うマネジメントサロンを実施しています。

研究分科会がICTレベルの研究に偏りがちなため、経営について語り合える場がほしいという会員の声に応え、部門長クラスから主任クラスまで各階層別に1994年から東京で開始し、1997年からは部門長のみ関西でも開始しています。

今回は関西のマネジメントサロンを紹介します。

参加メンバーは11名で、関西地区企業の幹部の方々



この日は「ビジネスプロデュースできる人材の育成について」と「情報システムのオフショア開発」について討論しました

心に大学教授もおられます。

テーマは、経営課題や人材育成に関する内容から情報システムの話まで幅広く、文化人(京都植藤造園 佐野藤右衛門会長)に桜の守の話を講演いただいたこともありました。

毎月、大阪城近くの富士通関西システムラボラトリで開催していますが、夏の京都の納涼川床、秋の紅葉ライトアップ、冬は神戸のルミナリエなど参加メンバーの事業所近辺でのイベントも盛り込んでいます。

2011年の東西合同開催では、東京の清水建設技術研究所様の見学中に東日本大震災が発生し、関西から参加したメンバーは当日帰宅困難となってしまったことが強く印象に残っています。

LS研マネジメントサロンに参加された方からは、「毎月の会合の内容よりも参加メンバーの方々から影響を多く受けたように思います。自社という枠にとらわれずに経営や情報の本質を考え、その観点から逆に自社のあり方を考えるという発想がこのサロンの特徴であると思いました。」との声をいただいています。

会員の皆様のLS研階層別サロンへのご参加を是非お待ちしております。



富士通関西システムラボラトリ 8階会議室からの夕日

わたしのおすすめ

お気に入りの場所や自慢のペット、趣味の活動や家族揃って楽しむイベントなど、あなたのおすすめを写真と文章で紹介してください。誌面に掲載させていただいた方には、図書カード(3,000円分)を差し上げます。



我ら酷道探検隊

近藤 騰 四国電力(株) (香川県高松市)

今年の夏、高知県四万十市江川崎で41.0℃という、国内最高気温を記録しました。まさしく酷暑と言えるものです。気象庁の予報用語にも、「酷暑」は厳しい暑さと説明されています。最近ハマっているのが、この「酷」が使われている酷道探検です。

酷道(こくどう) は日本語の俗語で、一般国道のうち乗用車による通行が困難であるなど文字通り「酷(ひど)い状態の国道」を、「国道」の読みにつっ掛けて揶揄するものと言われています。テレビ放送や書籍が発行されるなど、最近、認知度は少しずつアップしているようです。酷い所では、道幅が狭く対向車とのすれ違いが困難であったり落石が道路に散乱していたり全く灯りのないトンネルであったり、さらには、携帯電話が通じない場所であったりします。

では、なぜ好き好んで酷道を探検するかと言いますと、「この先どん

な景色に出会えるのか」でしょうか。重機の無い時代に人々が苦労して通じた道路であ



り、その昔、街道として栄えていた頃の歴史を紐解くことができます。

でも一番驚いたのは宅配便のトラックと対向したときで、「こんな山深くまでご苦労さま」と言いたくなりました。ここは今でも、地元の方々の生活道路であることを痛感させられました。

四国の面積のうち約7割が山間部と言われており、酷道も多く存在しているようです。地図を片手にこれからも、いにしえの道を求めて酷道探検して行きたいです。では、ご安全に。

奈良県にある大神神社

吉田 哲也 コクヨ(株) (大阪府大阪市)

奈良県にある大神神社(三輪明神)をご紹介します。大神神社はご神体が三輪山で、日本最古の神社といわれており、「パワースポット」としても有名な聖地で、月初めには多くの参拝客で賑わいます。その中でもお勤めなのが、狭井神社の「ご神水」です。

狭井神社の薬井戸から湧き出る「ご神水」は万病に効くと言われる薬水です。私は2ヶ月に1回程度参拝し、ご神水を頂いています。そのおかげが、最近では病氣にかかることも少ないような気がします。

また、参拝後の楽しみとして、三輪そうめんがあります。神社周辺には、三輪そうめんの称号をもつ老舗のお店が多くありますが、そうめんの中でもお勤めなのが、「ふし」です。ふし



は、そうめんを作る時に麺を2本の竹管にかけ、引き延ばして乾燥させますが、この時できる引っ掛かった管ぎわの切り落した部分を言います。

見かけは良くなく麺の厚みなどが不揃いですが、その不揃いさが逆に食べた時に良い食感となります。皆さんもご参拝され、心と体から元気になっては如何でしょうか。



公園で過ごす時間

三田村 知行 日揮情報システム(株) (神奈川県横浜市)

私のおすすめは公園で息子と過ごす休日の時間です。私には1歳8カ月になる息子がおります。もう走り回るような年齢で、休日には必ず近くの公園に連れて行けと言われる(実際はまだ言葉は話さないのですが、そんな風に言っている様に思える眼差しとジェスチャーがあります)。

そこで、ここ数カ月は休日の度に近くの公園に息子を連れて行く事が、父親である私の日課となっています。最初は息子が喜ぶためだと思って公園に連れて行き、息子が遊具等で遊び回る様子を傍に付き添いながら眺めているだけだったのですが、その内、公園内で目に付く色々なものについて私から息子に話しかけるようになりました。

例えば、蟻の行列を見付けると、「ほら、アリさんだよ。たくさんいるね。」と話しかけたり、花が咲いているのを見付けると、「きれいな花が咲いているね。何の花だろう?」と問いかけたりと。そんな形で、私に

とって公園で息子と過ごす時間は、息子とのコミュニケーション(まだ一方通行ですが)を円れる大切な時間であると共に、オフィスで普段段仕事をしている中では目にも止まらないような自然の様子や季節の移り変わりにふと気付ける時間にもなり、私自身の心の洗濯ができるお気に入りの時間となりました。

みなさんも、自宅近くの公園に出掛け、ベンチに座りながら、思い思いの時間を過ごしてみたいかがでしょうか? 安近短でできる休日の過ごし方としておすすめしますよ!



大自然体感! 利根川ラフティング

山下 真梨 JX 日鉱日石インフォテック(株) (神奈川県横浜市)

この夏、利根川源流がある群馬県みなかみでラフティングを初体験しました。ラフティングとは、ゴムボートに7~8人で乗り、力を合わせながら激流を下るアウトドアスポーツです。こう書くと若者向けと思われるがちですが、様々な年代の人が参加しており気軽にできる環境が整っているスポーツです。私も初心者のため一抹の不安を抱きながら参加したのですが、あっという間にその楽しさに夢中になってしまいました。

まず、ウェットスーツやヘルメット、オール等装備一式を身に付け、川下りをするポイントへ移動、そこで一通りボートの漕ぎ方や注意事項のレクチャーを受けます。その後、いよいよチームごとにボートに乗り込みいざ出発です!

各ボートにはインストラクターの方が1人ずつ乗込み、全員の気持ちが1つになるよう声をかけてくれます。「イチ、二、イチ、二」の掛け声で

オールを操り、川を下って行きます。最初はなかなかタイミングを合わせるのが難しいですが、川の流れがボートをズンズンと下流に運んでくれます。傾斜があるところに差し掛かると、途端にスピードが上がり、つい声が出てしまいますが、視線を上げると雄大な木々が周りを取り囲む神秘的な様子にハッとさせられます。水しぶきをあげて進むボートのスピード感と周りを囲む豊かな自然に、スリルと癒しの両方を味わえる不思議な時間でした。

皆さんも、自然を五感で体験できるラフティングに行かれてみてはいかがでしょうか。



投稿募集

「FUJITSUファミリー会」ホームページからも応募可能 ▶▶▶ <http://jp.fujitsu.com/family/honbu/family/information/>

- 文章350~600字程度 Word文書または、シンプルテキスト
- 写真: JPEG画像等
- 送付先: ファミリー会事務局 contact-familykai@cs.jp.fujitsu.com

記事掲載にあたり、会員企業(団体)名、お名前(ペンネームでも可)、所在地(市町村)を掲載させていただきます。また、投稿者多数など、誌面の都合上掲載できない場合がございます。予めご了承ください。